

Mitaka City Library

三鷹市立図書館

図書館だより

平成26年4-7月号

第11号 平成26年4月30日発行

編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館)	上連雀8-3-3	TEL0422-43-9151
下連雀図書館	下連雀6-13-13	TEL0422-43-9159
東部図書館	牟礼5-8-16	TEL0422-49-3851
西部図書館	大沢2-6-47	TEL0422-33-1311
三鷹駅前図書館	下連雀3-13-10	TEL0422-71-0035
南部図書館みんなみ	新川5-14-16	TEL0422-76-5571

開館時間：9:30~17:00*

※三鷹図書館は9:30~20:00、土・日・祝日は17:00まで

※三鷹駅前図書館は10:00~20:00、土・日・祝日は17:00まで

休館日：毎週月曜日・第3水曜日

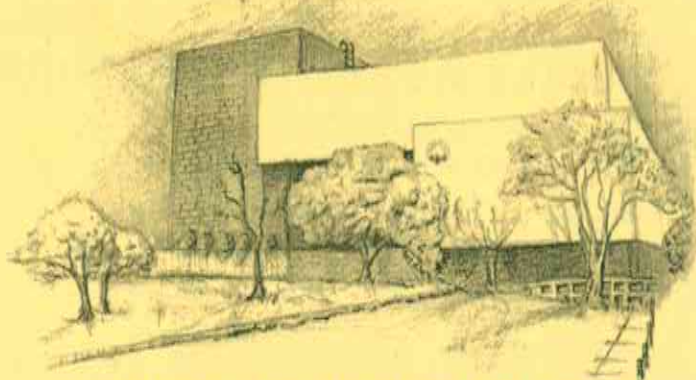
※下連雀図書館は毎週水曜日・第1月曜日・祝日

<http://www.library.mitaka.tokyo.jp>

平成26年度 三鷹市立図書館は開館50周年!

三鷹市立図書館は50年前、蔵書5,500冊で開館しました。当時はすべて目録カードで本を選んで係員に出してもらって閉架式でした。その後、貸し出しに重点を置く市民の図書館として下連雀・東部・西部・三鷹駅前・南部の5つの分館や、新しく三鷹図書館(本館)が整備され、現在の蔵書数は約650,000冊となっています。

50周年の今年度、市民の皆さんと図書館と三鷹の歴史を振り返り、「次の50年」を語り合うさまざまな事業を実施します。



昭和39年(1964年)に開館した旧・三鷹市立図書館。現在の三鷹市芸術文化センターの敷地(上連雀六丁目)にありました。



【三鷹市立図書館記念50周年記念事業の年間プログラム】

- ◎記念イベント(10月31日、11月1日を予定)
- ◎本館・分館での各種イベント
- ◎三鷹ネットワーク大学と共催する連続講座
- ◎「本の修理屋さん」養成講座
- ◎中高校生の交流の場
- 「みたかとしょかん図書館!」発足
- ◎三鷹市立図書館ロゴマークの募集
- ◎50周年記念展示・記念誌の作成 など

三鷹市立図書館50周年記念事業をご一緒に

「図書館サポーター」を募集

地域とつながる新しい図書館活動をめざして

三鷹市立図書館では、開館50周年を機に、地域とつながる新しい図書館活動の基礎づくりを進めるために、市民ボランティア「図書館サポーター」を募集します。活動に興味のある方は、ぜひ説明会にお越しください。これからの図書館をご一緒に考え、作りだしましょう。

図書館サポーターの活動の例

- ★読書会や古本市などの新しい図書館イベントの企画運営
 - ★図書館の本の修理や書架整理、館内の整備や装飾
 - ★本の宅配や朗読・紹介等の高齢者向けサービス など
- サポーターの皆さんと話し合い、工夫しながら新しい活動とサービスを創出していきます。

「図書館サポーター」に興味のある方への説明会

- ◇日時 5月16日(金)午後2時~4時
- ◇会場 三鷹図書館(本館)2階第1集会室
- ◇内容 50周年事業やサポーター活動についての説明と意見交換

【応募方法】

5月9日(金曜日)までに、市立図書館のカウンターに備え付けの用紙が電子メール・ファクスで、①名前、②住所、③連絡先、④参加の動機や興味のある活動など(100字以内)を明記し、直接カウンターに持参、または電子メール toshokan@city.mitaka.tokyo.jp、ファクス0422-43-0332へお送りください。

【問い合わせ先】

三鷹図書館(本館) 電話0422-43-9151

※説明会終了後も引き続き、図書館サポーターを募集します。詳細はお問い合わせください。

読み聞かせ入門講座のご案内

小学校ではじめる読み聞かせ

5月30日(金) 10:00~12:30

三鷹図書館(本館)第1集会室 50人。直接会場へ(申込不要)。

市内小学校でクラスに読み聞かせしている保護者が講師です。

内容: おすすめの本の紹介

クラスでしている読み聞かせの実践

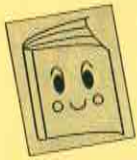
★ 図書館員から、選書や読み方についての講習もあります。



第39号 4月下旬発行
各図書館で配布中!

「よんでみない?」は、この1年の新刊から図書館が選定した小学生にお薦めの図書30冊を掲載したリストです。市立小学校に通う児童には、4月下旬に学校を通じて配布しています。

掲載図書は各図書館にあり、貸出もできます。どうぞご利用ください!



ブックスタート(乳児家庭全戸訪問関連)事業のお知らせ

5月から
ブックスタート絵本変わります

「じゃあじゃあびりびり」は、あかちゃんの好きな「音」を集めた厚紙絵本です。絵本の作者、まついのりこさんは三鷹在住の絵本作家です。

5月から「こんにちは赤ちゃん事業」で訪問するご家庭に地域の民生・児童委員がお届けします。どうぞお楽しみに!

おすすめの本が増えました!
新リスト発行です

図書館が選定した0,1,2歳向け絵本リスト「絵本でひろがる豊かな時間 第12号」が発行されました。おすすめ絵本43冊を掲載しています。

ブックスタート絵本とともに「こんにちは赤ちゃん事業」で各ご家庭にお届けするほか、図書館でも配布します。掲載絵本は、図書館各館にコーナーがあり、貸し出しもできます。また、お近くの「絵本パック」設置施設で一部を読むこともできます。



じゃあじゃあびりびり
まついのりこ/作・絵
偕成社 1983

南部図書館みんなみオーフニングイベント

報告

■「京劇ってなあに?子どものための体験講座」



京劇の見どころはなんといっても立ち回り!

京劇の衣装をつけた役者さんたちの指導で、刀を交える型を練習

3月2日に開催。講師に新潮劇院主宰、張春祥(ちょう・しゅんしょう)さんを迎え、小学生を中心に39人の参加がありました。

■講演会「アフリカの本と子どもたち」

3月23日に開催。翻訳家で「アフリカ子どもの本プロジェクト」代表のさくまゆみこさんのお話に50人の参加者が熱心に聞き入りました。



会場ではアフリカの子どもたちのパネル展も



さくまゆみこさん

みたかとしょかん

図書部!

4月19日、キックオフミーティング開催

中学生から大学生までの15人の部員が誕生しました。当日は自分の好きな本の紹介や、部活の活動内容について話し合いをし、今年度はビブリオバトル、書架の飾りつけ、新聞の発行、三鷹市立図書館50周年イベントへの参加といった活動をしていくことになりました。部員みんなで楽しみながら、同世代の人たちに本の魅力を伝えていきます。



やってみたいことがいっぱい!たくさんの意見が出ました



防犯カメラを導入しました

三鷹図書館(本館)

三鷹図書館(本館)では、開館時の不審者対策、犯罪の予防・抑止を目的として、常設のカメラ装置を設置し、4月1日から稼働を開始しました。

なお、防犯カメラの設置にあたっては、「三鷹市立図書館の防犯カメラの設置及び運用に関する基準」を定めて適正な運用を図っています。

利用者の皆さんに、より安全で快適に図書館をご利用いただくため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7月から移動図書館「ひまわり号」の巡回ステーションが変わります

図書館から離れた地区の皆さんに図書サービスをお届けしている「ひまわり号」ですが、7月から巡回先を一部変更します。

昨年11月に南部図書館みんなみが開館したため、すぐ近くにある「都営中原3丁目」と「新川団地」の2つのステーションについては運行を取り止めます。長い間のご利用ありがとうございました。今後は、同図書館をぜひご利用ください。

これに代わる新設ステーションの設置、併せて、他のステーションも含めた巡回日や時間などについて、現在、調整中です。新しい巡回ステーション・日程での実施は、7月からとなります。内容が決まり次第、お知らせしますので、ご確認ください。

「資料室」へどうぞ

三鷹図書館(本館)の2階に、調べものができる専門のスペース「資料室」があります。たくさんの参考資料や地域資料、オンラインデータベース閲覧端末などありますので、ぜひご利用ください。使い方がわからないときは、担当職員までどうぞ。

◆地図から三鷹を知る！ 資料室には、三鷹や三多摩周辺の様々な地図が揃っています。三鷹が載っている地図で一番古いものは、明治13年の「迅速測図」と呼ばれるものです。迅速測図とは当時の陸軍が軍事用の地図を早急に必要としたため、正式の基準点による測量の前に急いで作成した地図のことです。ほかには、『大正・昭和 東京周辺1万分1地形図集成』などで昔の三鷹を知ることができます。三鷹市の住宅地図で一番古いものは、昭和41年のものがあります。都内23区と多摩各市の住宅地図も近年のものは閲覧できます。

なお、現在、資料室前の展示コーナーでは、「幕末から昭和40年頃の地図」という展示を行っています。あわせてご覧ください。



多数の地図を解説付きで展示しています
(三鷹図書館(本館)2階の展示コーナー)

図書館のお仕事◎図書館で所蔵する本を決める「選書会」

通常は目にふれにくい図書館サービスの裏側を紹介するコーナーです

三鷹市立図書館では毎週たくさんの本を購入しています。国内では現在、年間約82,000点(「出版年鑑2012」より)もの書籍が出版されていますが、その中から、どのように所蔵する本を選んでいるのでしょうか？



子ども向け図書の選書会

「このシリーズはよく借りられているね」「この絵本、この場面がいいんだよね」—情報交換をしながら、検討は進みます。

図書館職員は、毎週、所蔵する本を選んでいきます。ジャンル別に、図書館で既に所蔵している本やその貸し出し状況、利用者のリクエストや社会の話題、書店の売り上げなどを見ながら、書店から届く新しい本の見本や本カタログを読んで内容を確認し、「三鷹市立図書館資料収集方針」や「収集基準」に則って書架に置くべき本を選んでいきます。これを「選書」といいます。

図書館がお休みの毎週月曜日には、全館の代表の職員が集まって、その週にどの本を購入するかを決定する「選書会」を開きます。各館の職員が選書した本を確認し、どの本をどこの館で購入するかを決めて、図書館長に諮り、購入する本が決まります。

その後、書店に発注された本は、必要なラベルや保護フィルムを貼るなどの装備を経て、土曜日の朝、新刊書として各館に配架されるのです。



図書館員おすすめの1冊



『言葉と歩く日記』

多和田葉子著 岩波書店 2013

新書9分類(文学)S915.6㊦

非母語であるドイツ語で母語の日本語と同じように創作を続け、「エクソフォニー」(母語の外で生活したり執筆したりすること)を実践する著者が、言葉に関する考えを書き留めた日記です。知っているつもりの母語の新しい発見があったり、異文化に興味を持たせてくれる、世界が広がる本です。

『南下せよと彼女は言う』

有吉玉青著 小学館 2012

9分類(文学)913.6ア

オランダ、スイス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ハワイの街で、年齢や境遇の違う男女が、旅先での出会いや別れの物語を紡ぎ出す。読後に清涼感が残る旅物語。美しい外国の風物が、目の前に広がるような描写が鮮やか。自分が旅の主人公になったような気分を味わえる。また、自らも旅に出たくなる本。

『おさんぽ美術館』

杉浦さやか著 白泉社 2013

ヤングアダルト7分類(芸術・美術)Y706.9

季節に誘われてお出かけしたくなかったけれど、ただのお散歩ではもったいない。そんな時、美術館めぐりはいかがでしょうか?歴史ある建物、素敵なお庭。併設のカフェやショップには、思わぬ出会いがあるかも知れません。展示作品だけでなく、街も人も空気も含めた美術館めぐり。この本を持ってでかけてみませんか?

『平家物語の怪』

井沢元彦著 大槻文蔵能楽解説 森田拾史郎写真

世界文化社 2011 7分類(芸術・美術)773.0

能は室町時代のミュージカルです。人間の生死が現代よりも身近であった源平の世を、時には主人公が亡霊の姿になって語ります。案内人は歴史の研究者で、ミステリー作家でもある井沢元彦。物語の筋だけでなく、登場人物の思いや心理を生き生きと解説していきます。能の入門書としても最適の一冊です。

南部図書館みんなみ サポーター活動報告 — 装飾・展示グループ編 —

秋に開館した「南部図書館みんなみ」も新緑の季節を迎え、館内も季節の装いになりました。

青少年にお勧めの本の展示コーナーには、入学を祝うメッセージや桜の装飾とともに、「入学」をテーマにした本を展示しました。そして、児童コーナーの窓辺には、4月初旬の桜からこいのぼりや小鳥たちのモビールがさらに季節感を演出しています。

これらは、南部図書館サポーターの皆さんが作製したものです。そのほかにも、装飾・展示グループは、開館前の準備からずっと、館内が親しみやすい雰囲気になるように、本を手にするきっかけになるように、と心をこめていろいろなものを手作りしています。

- ・お母さんがゆったりとした気持ちで赤ちゃんとかかわれる授乳室内の壁面装飾
- ・おはなしのへやの入り口で子どもたちを迎えてくれる動物たちの装飾
- ・所々に置かれている本の登場人物や手袋人形などなど。

毎回、大変熱心に、時には時間も会話も忘れるほど夢中になって! 南部図書館みんなみが目指している「みんなが集う、居心地のよい図書館」の実現に向けて活動しています。

市民活動グループ紹介⑧



「どの色の紙にしようか」相談中



お花の指人形とぐりとぐら

「なんと!くん」も窓辺でみなさんをお出迎え



彩り豊かな手作りの飾り付けで、授乳室が楽しくつろげる空間に

南部図書館みんなみに「まだ行ったことがない」という方、これからも季節やその時々テーマで変化する南部図書館に、ぜひおいでください。